

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	辺地対策道路改良事業	会計	一般会計	事業No.	602	施策順No.	72-014
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-12-5		
政策	7 自立・連携した地域づくり	課等名			土木課		
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上	事業期間	開始	15	終了	24	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	辺地内の重要市道及び地区中心地へ連絡する市道 辺地法に基づく対象地区住民(米峰辺地・毛呂窪辺地)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		路線延長:m	3400	3400	3400	810	810		
		住民数:人	311	311	311	88	88		
意図		狭く曲がった市道を通行しやすく改良する							
対象をどう変えるか		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)	70.2	83.1	100	30	31.6	70	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	平成22年度から新規の辺地計画の柳久保米峰線に着手し、測量設計も済み工事に着手できた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	「辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律」に基づき、辺地とその他の地域との間における住民の生活文化水準の著しい格差の是正を図るため、公共的施設の総合的、かつ、計画的な整備を促進する。 米峰辺地 道路改良 L=810m		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	・米峰辺地【新規の辺地計画】 市道2-75号柳久保米峰線 測量・設計 工事施工 物件補償	施工延長 幅員 物件補償 測量設計	L=740m W=5.5m 3件 路線測量 1式 詳細設計 1式 物件調査 1式
23年度実施計画	・米峰辺地 市道2-75号柳久保米峰線 工事施工 用地買収	施工延長 幅員	L=810m W=5.5m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (地) 辺地対策(充当率100%)
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債		66,400	66,400	52,000	
	その他					
一般財源		0	0	0		
計 (A)		66,400	66,400	52,000		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			0			
トータルコスト A+B			66,400			

4 事業に対する市民や議会の意見

・辺地地区から、この事業に対する要望が強い。
・市議会や市政懇談会において、中山間地域における高齢化・若者流出による人口減少の現状及び地域自治の運営を危惧する質問や意見、飯田市に対する対策を求める声が多数寄せられている。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	住民組織が、地域で考え、地域で活動し、役割を果たせる組織となる。	施策の成果指標又はムトス指標	自主的な地域づくりの参加人数(まちづくり委員会主催による活動)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	市道千代55号線が平成21年度に完成し、平成22年度より市道2-75号柳久保米峰線に着手した。		
	後期に向けた課題	市道2-75号柳久保米峰線の改良を引き続き進める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	市道千代55号線の改良が平成21年度に完了し、中山間地域の活性化につながる。		
	後期に向けた課題	市道2-75号柳久保米峰線の改良に取り組む完成させることにより、成果を向上させることができる。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	工法の見直しなどして、縮減を図った。		
	後期に向けた課題	工法等を検討することにより、事業費の削減を図る		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市道の整備であり、道路管理者として道路整備を行った。		
	後期に向けた課題	市道の整備であり、引き続き道路管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してありましたか	4年間の振り返り	①市道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性向上の道路整備。		
	後期に向けた課題	①市道の管理者は飯田市であり、通行車両及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性向上の道路整備。		
全体を通じて	4年間の振り返り	市道千代55号線の改良が完了し、平成22年度から新規の辺地計画により、市道2-75号柳久保米峰線に着手した。		
	後期に向けた課題	2-75号柳久保米峰線が完了後、新たな地区(路線)の事業に取り組むことにより、効果を発揮したい。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------